

計画事業番号	00127	事務事業名	地域包括ケア推進事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	811
--------	-------	-------	------------	------	-----------------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	介護保険法第115条の45、46、48				
事務事業開始年度	平成14年度	個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 5 節)	高齢者福祉・介護の充実
	(施策 4)	地域支援体制の推進
2 対 象	高齢者支援センター・社会福祉協議会・保健医療福祉関係者・市民団体等	
3 目的と内容	高齢者が住み慣れた地域安心して暮らし続けられる地域づくり(地域包括ケアシステムの構築)を目指し、4か所の高齢者支援センターが地域ケア会議(地域たすけあい会議)を開催する。 また、構成員の知識習得、情報交換、啓発活動のための全体会などを市にて開催する。	
4 実施内容 (手 段)	2 7 年 度 ま で	①運営推進会議の開催(年3回) ②全体会の開催(年1回) ③多職種連携会議 ④各地区の地域たすけあい会議 ⑤講演会の開催(年1回) ⑥広報掲載
	2 8 年 度	①運営推進会議の開催(年3回) ②全体会の開催(年1回) ③各地区の地域たすけあい会議支援

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
地域たすけあい会議全体会の開催 地域たすけあい会議連絡会議の開催 多職種連携会議の開催 各地区の地域たすけあい会議支援 講演会の開催 周知活動	全体会の開催 1回 運営推進会議の開催 3回 多職種連携会議の開催2回 各地区の地域たすけあい会議支援 講演会の開催 1回 周知活動(パンフレット購入)	地域たすけあい会議全体会の開催 地域たすけあい会議運営推進会議の開催 各地区の地域たすけあい会議支援	地域たすけあい会議全体会の開催 地域たすけあい会議運営推進会議の開催 各地区の地域たすけあい会議支援	地域たすけあい会議全体会の開催 地域たすけあい会議運営推進会議の開催 各地区の地域たすけあい会議支援

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	平成28年度から多職種連携会議は「在宅医療介護連携推進協議会」として開催することとし、その他は現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			323	228	152	152
事業額	直接事業費	国支出金	126	89	59	59
		道支出金	63	44	30	30
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	69	45	30	30
		一般財源	65	50	33	33
		① 合計	323	228	152	152
	人件費	② 人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	900	900	900	900
		総事業費①+④	1,223	1,128	1,052	1,052

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①全体会	目標値	1	1	1	1
		実績値	1			
	②運営推進会議	目標値	3	3	3	3
		実績値	3			
	③多職種連携会議	目標値	3	-	-	-
		実績値	2	-	-	-
	④講演会	目標値	1	-	-	-
		実績値	1	-	-	-
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	地域包括ケアシステム構築のために不可欠な事業とされ、平成27年の介護保険制度改正に伴い法制化されるなど、事業推進は重要であり妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	地域ニーズについて「できること」からという考え方で、地域資源の活用や地域住民と連携し取組むなど、顔の見える関係を構築しながら進められており、成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	官民協働の視点から、既存資源の活用や民間団体、地域住民等との連携を図る事業であるため、大きな成果を期待するものではないが、政策提言を検討することにより、よりよい成果を期待できるものである。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	少ないコストで工夫し、「できること」を模索している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--